

与信管理の基礎講座

2007年の企業倒産件数は、前年対比で6.4%増加して14,091件となりました。また、2008年に入ってから5月を除き、前年対比で増加し続けています（東京商工リサーチ調べ）。米国発のサブプライム問題や建築基準法改正による建築業界の不振、原油やその他原材料の高騰により、2008年も企業倒産は増加する公算が高まっています。このように倒産が増加する経済状況では、自社の与信判断基準を厳しくしたり、与信管理体制を見直したりする必要があります。このセミナーでは、登記簿や信用調査書の見方、取引先の分析方法、緊急時の対応など与信管理についての基本的な知識を一通り学べます。理論ではなく、実務の習得を目的としています。

■ 日時 2008年12月2日（火） 9:30～16:30

■ 会場 きゅりあん（品川区立総合区民会館） 5階 第一講習室
〒140-0011 東京都品川区東大井5-18-1

■ 費用 35,000円（税込） *昼食・テキスト代含む

■ 内容 定員 22名

1. 与信管理の基本的な考え方 (1)80:20の法則(2)与信管理の重要性(3)与信管理の目的(4)与信管理規定の整備(5)与信管理規定の項目(6)組織における与信・回収機能(7)与信取引申請書(8)与信管理の効果測定

2. 信用情報収集のポイント (1)インターネットによる情報収集(2)商業登記簿で注意すべき4つのポイント(3)不動産登記簿から分かる5つの与信リスク(4)信用調査報告書のポイント

3. 小切手と約束手形の注意事項 (1)小切手と約束手形の違い(2)小切手の注意点(3)約束手形の注意点(4)裏書の連続(5)融通手形の見分け方(6)時効について

4. 取引先の分析(1)定性項目の評価と分析(2)決算書
対 象：審査部門・営業部門・業務部門 レベル：初級～中級■

の分析(3)安全性の分析(4)収益性の分析(5)効率性の分析(6)成長性・生産性の分析(7)その他の指標(8)定量分析の限界(9)キャッシュフロー計算書のポイント(10)取引先の社内格付け

5. 危険な兆候の見分け方 (1)パクリ屋の手口(2)危険度を測る3つの指標(3)倒産事例から破たん兆候を探る(4)初期段階の危険な兆候を見分ける(5)危険な兆候のチェックリスト

6. 緊急時の対応と債権保全策 (1)危険な兆候を察知したら(2)手形ジャンプや手形返却の依頼への対応策(3)必須の契約条項とは(4)物的担保(5)人的担保（保証）(6)法的担保と約定担保

■ 講師 ナレッジマネジメントジャパン株式会社 代表取締役 牧野 和彦

1989年早稲田大学卒。ダンアンドブラッドストリートジャパンにおいてシニアマネージャーとして多くの実績を収め、1997年にD&B Leadership Awardを受賞。1999年3月、日本人で初めて米国のNational Collections & Credit Riskにおいて講演を行う。2000年6月に現在の会社を設立し、与信管理のコンサルティングや講演、執筆など幅広い活動を行う。訳書に『タンの企業審査入門』（日本経済新聞社）、著書に『eビジネスのリスクマネジメント』（エクスメディア）、『海外取引の与信管理と債権回収の実務』（日本実業出版社）、『これだけある！お金をかけずにマスターするビジネス英語』（中経出版）がある。（社）日本経営協会、（社）企業研究会、JETRO、各商工会議所の講師としても活動中。

■ お問い合わせ ナレッジマネジメントジャパン株式会社 B-Seminar 担当

Tel. 03-5575-2436 Fax. 0120-453-702 東京都港区赤坂6-2-12 サージュ赤坂2F

Homepage <http://www.kmjpn.com> E-mail: seminar@kmjpn.com

■ お申込み 下記にご記入の上、FAX下さい。（Fax. 03-5575-2277）又はホームページからお申し込みいただけます。お申込みを受付後、当社より受講票及び請求書を郵送いたします。セミナー3日前までにお振込みください。

セミナー3日前（土日祝日を除く）を過ぎたキャンセルは100%のキャンセル料がかかります。

*セミナーの録音・録画はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。*開催日までに、内容を多少変更する可能性があります。*主催者、講師等の諸般の事情によりセミナー開催を中止させていただく場合がございます。予めご了承ください。

セミナー参加申込書		12月2日（火）9:30～16:30		与信管理の基礎講座	
受講者名				フリガナ	
会社名					
ご住所	〒				
部署名				役職名	
TEL				FAX	
E-mailアドレス					